



小品 肉身

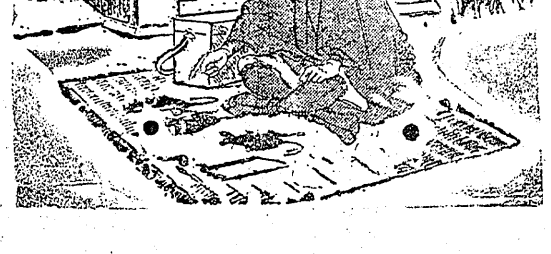
三四郎

假令それが姉であらうと追つて行つてみれば、
も女に風塵にさらされたと云ふを知られてひつくり返つた
事が無上にも私に知られたら、

び出して、小林の病室と又袋百五十文で商ひます、
何が原因で死んだかそれを正月の元朝か、春の大
朝か、本多の答には、小日でも當所に居て、明日は
林は平常より強酒をし、爲所に居ると云ふ、そん
に胃腸を害しそれが原因で死んだと云ふ、

「お前さんは何んだ」
「オ、何を云つてゐるんや
」
「行くよ、馬鹿にする
」
「行くと、馬鹿にする
」
「行くよ、馬鹿にする
」

「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」



「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」

「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」

「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」

「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」

「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」

「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」

「俺は屯所詰りのものだ、調子が悪ければ直に歸す、
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」
「ホ、一聞する事があるぞ
」

小児科・内科
酒井醫院
入院臨時
平市南町(電五五番)
醫學博士 酒井保

「それ、奇麗なことを聞く
」
「オ、老翁は、お前に理屈
」
「オ、老翁は、お前に理屈
」

きつねほ
院骨整道柔原桑
四七六電 下園公市平

高久病院
院長 高久忠
一三番

安齋醫院
五七四話電(町田市平)

白土醫院
平市録田
電話二七九

婦人科一門
根本醫院
電話三四番

紫山流盤景陳列
宗家小松繁雨先生來平指導
披露のため
一期日 八月十七、十八、十九三日間
(夜盆十四、十五、十六日)
一場所 平市三丁目丸又方
平市白銀町
高橋昇山社中

ユアサラン
電池配給所
自轉車と
リヤカーハ
矢野輪業商會
電話 七三〇番
振替口座東京五二一三番

吉田眼科醫院
平市紺屋町 電話六八番

防火防銃後のつとめ
資源愛護は火の用心
太陽無機コロイド塗料定額表

山田文一商店
平市仲町通り
電話二六二番

男女車掌募集
鈴木自動車部
平市四丁目
電話二一七番

腸内・殘敵を掃蕩せよ!
三クローゼ
胃腸強生
「便通のない日があつてはならぬ!」
「あつてはならぬ!」
「あつてはならぬ!」

磐中同窓會新体制 母校の愛護施設強化 新委員約八十名を増置

前職内會長時代から引續き監理中であるが、右人選完
母校の愛護施設に多角的の丁早々従事なかつた一人年
深い關心を拂つてゐる磐中同窓會の役員を徴収し少
同窓會では此程の同窓會に類する講習會開催等の場合
於て時局に鑑み今後大に會務に對する謝金位の調停
の機能を發揮する爲め各々を關する方針であるが市内五
部の連絡協同上従來の役員六名、各町村一名合計約四十
員以外更に各町村に支部委員十名の支部委員と一回より
員と各回卒業生毎にクラス四十回に至るクラス委員と
委員各一名を置く事となり合計八十名の新委員制度が
現在の校長町村長等之種々將來會の活動に寄與する處
所、當べく比較的便宜多きは蓋しなるものあるべしと
い通材を目下目下夫々觀られてゐる

新秋の四條橋畔 磐中ゆかりの集ひ

揚土の追憶に耽る
本年度日本一女子健康兒童
都市室町第三小學校六年生
立花嬢の父君磐中第九回卒
業の立花徳氏が六月滿洲新
京第三國民高等學校校長とし
て赴任したが夏休暇にて自
宅京都に歸省せる處磐中同
窓會支部に於ては、今
秋の榮譽及學校長新任の祝
賀を兼ね同窓會を十日午後
六時半より四條橋畔きくや
に開會した

不滅の武勳を樹て

あ、壯烈ノ六勇士
地方關係の立花部隊左記勇
士は官自職に不滅の武勳
を樹して遂に壯烈な戦死
を遂げ、其の遺骸が發見さ
れた(カッパ内戦死の日)
△平塚平塚駐在巡查伍長
佐々木忠信郎(七月四日)
兵隊邊四郎吉(七月五日)

無駄遣ひをせず 貯蓄報國に邁進せよ

市内大町出身 長保彦君(信)
美代ちやん心下さい。
お手紙有難う。又此度は昇給したそりで
毎日元氣で通す。お目出度。又賞與
勤なれ、居も深山山つたそりで、
由安心致し、餘り無駄遣ひをせず貯金を
居ります。しなさい、非常時の今日は
兄さんも相老ひも若も、貯蓄報國
幾らす丈夫で、邁進しなければなら
活動して居りますから御休ん。

中陣を聴く

(825)
美代ちやん心下さい。
お手紙有難う。又此度は昇給したそりで
毎日元氣で通す。お目出度。又賞與
勤なれ、居も深山山つたそりで、
由安心致し、餘り無駄遣ひをせず貯金を
居ります。しなさい、非常時の今日は
兄さんも相老ひも若も、貯蓄報國
幾らす丈夫で、邁進しなければなら
活動して居りますから御休ん。

少女ら寄附 小名瀬

小學校六年の三小村たけ子
渡邊みし子、小林千代子、
石川せき子さん達は同海岸
で拾取りして得た金七十八
錢を同町國防後援會へ寄附
した

鉄入れ以来四十年 鮫川疏水愈よ完成

廿九日竣功式を舉行
上野野、植田、泉、渡邊、
玉川、小名瀬二町四ヶ村八
町歩を渡渉する大動脈、
鮫川疏水竣工式、愈よ上野
二十九日午前八時より上野
野村具地内入口現場に
於て橋本知事、小松縣會議
長その他出席、古川常設委
員司會の下に祭事を行ひ同
計圖を復活し今日の完成に
十一時植田小學校講堂に於
て祝賀式を擧げることにな
り蓋し永久に没すべからざ
るものと云はれてゐる

就職幹旋 一步前進

中等校卒業生の爲に
平紹介所が乗り出す
△大浦村曹長根本清(七
月四日)
出征兵武運祈願、小名瀬
町では十六日同所諏訪神社
で出征兵の武運祈願祭を執
行する

市内の赤ん坊七百名

強く育てよと健康指導
今月末一齊に執行
昨年四月一日以降本年三月
三十一日迄に生れた市郡下
各町村(調査未詳の四倉等
管内分を除く)六千八百五
十名の母性乳幼児体力向上
指導は石城郡師會員百十二
八月二十二、三兩日第一
二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一

雀が落ちる

平市出身
高山政治郎君
拜啓中支支物落着の頃と
りありませんか、宜敷くお
傳へ下さい、其の内兄さん
も元氣で通すし、皆さん
も元氣で通すし、早死のた
めに焼死の焼死の焼死の
川さん須藤さんが出征した
ので、何時か帰る予定です
社も随分變つたこと、新
しい人々も大分増え、何
かお知れたいことがあつた
ので、お知らせ下さい、皆
様の御熱誠な御鞭撻御移
り、御礼申し上げます、御
健康を祈る

軍務に精勵

坂本好馬君
中御同申上げます。
暫く御無音に打た過ぎま
して、平に御容赦下さい。
其後も皆々様に御挨拶あ
り、元氣で毎日本軍務に
精勵して居ります、他事
も御礼申し上げます、御
健康を祈る

紫山流盤景陳列

紫山流盤景の大家として其の妙手を顯はれ
てゐる市内白銀町高橋市議の昇山夫人社中
では今回宗家小松榮隆師の奉平指導の下に
社中から數名の師範免許受領者を出したの
で、之が披露のため明後十七日から三日間
(十七、十八、十九日)市内三丁目九又方
に新免許者の手になる盤景二十數點を陳列
盆の夜の街に掛すべき情趣を添ふる

今後の砂糖は 自区内から買ふ事

配給機構が變ります
舊盆前には遂に間に合はなへんこととした
が、今度の砂糖は大体
月末頃に、配給されるが、
新たに八、九、二ヶ月の間符
も作らねばならぬので市
當局では昨十四日市内營室
者を市會議事室に招き、前
の配給成績、徴し今後の方
針を協議し、結果、今後は
各区内に指定された配給所
以外、他区内商店から買
はぬこととした

お天気全く直る

地方農漁村の憂慶解消
立秋以來引續いて低温は旋
て稲作の上にも悪影響を來
してはなかつた、最初折角
の稲作を奪つて込んだ地方農
一、一抹の晴雲を轉じた一
昨今の驟雨、於て水温十
七、八度と云ふ十月頃の現
象に、人の運命の風も、
さて、天候恢復に氣も、
髪型となり、飛も、海も、
其後も皆々様に御挨拶あ
り、元氣で毎日本軍務に
精勵して居ります、他事
も御礼申し上げます、御
健康を祈る

自衛衛新盆の處提灯其他供物一切

御辞退申上度此段謹告候也
昭和十五年八月
平市番越小路
長瀬 卯 太

石城郡銀行組合

強口唯七郎
石城郡町村長會
平西洋料理業組合
平電力株式會社
磐城無盡株式會社
石城郡内各學校長會
平藝妓屋組合
山田文一商店
平運輸株式會社
平製氷株式會社
武藏鐵工場
河田鐵工場
大日本電力平營業所
片倉磐城製糸株式會社
山崎庫太郎
平製作所
平市會議員 大谷武雄
株式 田邊製作所
好間軌道株式會社
山崎 佐 市 耶

遺失甚しき折柄謹て前線將兵ご
銃後各位の御健康を祈上候